卵

六年

画数 7
筆順
オン ラン
クン たまご

成り立ち

木のえだに生みつけられた「虫の〝たまご〟」の形を表した字です。

「虫の〝たまご〟」に限らず、どんな〝たまご〟でもこの字で表します。しかし、〝たまご〟という言葉は、〝玉子〟という意味の言葉です。

〔蛋白質（タンパクシツ）の〝蛋〟は、〝卵〟と同義の字である。わが国では〝鶏卵〟と言うが、中国では〝鶏蛋〟と言う。だから、〝蛋白質〟も〝卵白質〟と言った方が解りやすいであろう。〕

使い方

▽ぼくは卵焼きが大好きです。卵の料理なら、どんな料理でも好きです。

▽鮭（さけ）という魚は、卵を産むころになると、必ず産まれた川にもどって来て、その川で産卵するそうです。

▽人間の体に必要な蛋白質（タンパクシツ）の蛋白という言葉は、卵白と同じ言葉で、卵白は最も良質の蛋白質でできています。栄養に良いわけです。

熟語例

▽産卵（サンラン）（卵を産むこと。）

▽卵白（ランパク）（卵の白身のこと。黄身（きみ）の周囲を包む、すきとおった物質のことです。）

▽卵黄（ランオウ）（卵の黄身のこと。卵白に包まれた丸い球状のもののことです。）

▽卵殻（ランカク）（卵の殻（から）のこと。卵の中身を包んで保護している固い殻のことです。）

▽鶏卵（ケイラン）（鶏（にわとり）の卵のこと。）

▽卵生動物（ランセイドウブツ）（魚や虫のように卵から生まれる動物のこと。母体の中で育って胎内から生れて来る動物のことを、〝胎生（タイセイ）動物〟と言います。）

覧

六年

画数 17
筆順
オン ラン
クン

成り立ち

「上から下を見おろす」という意味を表した〝監〟という字と、〝見〟とを組み合わせて作った字です。

もとは、〝覧〟でしたが、今は〝覧〟になりました。

〝監〟という字が、「見張って取りしまる」という意味に使われるようになった（例監督）ため、この字に〝見〟を加えて、〝監〟のもとの意味を表したのです。

高い所から見おろすことから、「身分の高い人が見物する」場合や、〝見ること〟をていねいに言う場合に使われるようになりました。（例）高覧、天覧、照覧、観覧、遊覧、博覧、展覧、閲覧、回覧、便覧。

使い方

▽ぼくは小さい頃、遊園地の観覧車（シャ）に乗った覚えがあります。地面がはるかに下に見えて、こわかったような気がします。

▽わたしは万国博覧会（カイ）を見に連れて行ってもらったことがあります。色々な国のめずらしい物がたくさん見られて、おもしろかったです。

熟語例

▽高覧（コウラン）（他人が見ることを敬（うやま）っていう言葉。「ご高覧に供します」などというふうに、つかいます。）

▽天覧（テンラン）（天皇がご覧になること。「天覧相撲に、力士一同はりきりました」などというふうに、つかいます。）

▽照覧（ショウラン）（神仏がご覧になること。「神々もご照覧あれ」などというふうに、つかいます。）

▽観覧（カンラン）（見ること。）

▽遊覧（ユウラン）（見物してまわること。「遊覧船」など）

▽博覧（ハクラン）（広く一般に見せること。また広く読書をして色々なことを知っていること。「あの人は博覧強記（キョウキ）だ」などというふうに、つかいます。）

▽展覧（テンラン）（色々なものを広げて、広く人に見せること。）